

八幡浜市学校再編整備検討委員会 議事要旨

(第7回会議) 【公開用】

日時：平成29年1月17日(火) 18:55～20:56

場所：保内庁舎3階 第3会議室

欠席委員：鈴木委員

事務局：教育長、学校教育課長、同補佐

○会議次第

1. 開 会
2. 議 事
 - (1) 意見募集結果について
 - (2) 学校再編の具体的な方策等について
 - (3) 次回会議の日程及び議題について
3. 閉 会

◎会議概要

○開会(18時55分)

○議事

(委員長)

- ・ 本日の会議録の署名人を谷川委員と佐々木委員にお願いします。

(1) 意見募集結果について

(事務局からの説明)

- ・ 事務局から、検討委員会が作成した中間報告に対する意見募集の結果について、「中間報告に対する意見募集結果」(資料7-1)を基に、それぞれの項目ごとの概要を説明する。
意見募集結果として、PTA3人、学校関係者1人、公民館関係者2人、一般1人の計7人の方々から意見が寄せられた。
- ・ 市議会協議会で出た中間報告に対する意見について説明する。
- ・ 学校再編に関して寄せられたご意見は、概ね検討委員会の考え方に同意していただいている。児童生徒数の減少が激しいことを念頭に、5年後、10年後を見据えた学校再編に係る具体的な方策等の議論を行うことを改めて確認する。

(2) 学校再編の具体的な方策について

(事務局からの説明)

- ・ 学校再編に係る具体的な方策（第6回検討委員会のまとめ）（資料7-2）を基に、前回検討した内容について確認した。
- ・ 前回の検討結果をまとめた学校再編に係る具体的な方策（資料7-3）について、計画期間を平成30年度から平成39年度までの10年間とし、前期（5年以内）と後期（10年以内）に分けて学校再編を考えていくこと、各学校の児童生徒数の推移や施設状況等を中心に検討することを確認した。

(協議結果)

- ・ 10年後の市内中学校は2校とし、旧八幡浜市内の中学校については1校（八代中）に統合する。
- ・ 複式学級を有する小学校を除いた旧市内の小学校を1～2校減らす学校再編を考えていく。
- ・ 旧保内町の3小学校と日土小学校については、児童数がある程度確保されていることや教室数を考慮して、前期計画期間（平成30年度～平成34年度）内に改めて検討することとする。

(3) 次回会議の日程及び議題について

- ・ 次回は、具体的な学校再編について引き続き協議する。
- ・ 次回、第8回会議を2月16日（木）保内庁舎第3会議室で行うことを決定する。

○閉会（20時56分）

□ 委員発言（同種の発言はひとつに要約しています）

(中学校の再編について)

- ・ 真穴中学校は、現在策定されている学校統合再編整備計画にも統合対象校となっているが、いまだ統合することが決まっていないのはなぜか。
→ 統合を決める際、保護者の3分の2以上の賛成があれば統合協議を進めるという取り決めをされており、PTAでアンケートを取ったが、賛成数が取り決めた数に満たなかったため。
- ・ 松柏中は1学年1学級となってきている。生徒数を見ると、松柏中と愛宕中が統合するのがいいのではないか。
- ・ 同規模の学校同士が統合する際、学校名や校歌がどちらかの学校のままとするのは抵抗がある。その点についての配慮が必要だと思う。

- 青石中学校と保内中学校は、両校とも閉校し、新たな保内中学校としてスタートする。校歌、校章も変わる。
- ・ 江戸岡小学校は、中学校進学が3校に分かれると聞いている。
- 近年、半数以上の児童が松柏中へ進学している。後は愛宕中と八代中だが、八代中へ進学する児童はごくわずかである。かつては愛宕中へ進学する児童が多かったが、今は松柏中への進学が多くなっている。
- ・ もし、松柏中が愛宕中へ統合しても、将来また八代中と統合することになるのではないだろうか。そうなることが考えられるのであれば、八代中と統合することが現実的ではないだろうか。
 - ・ 松柏中の生徒が愛宕中へ行くより八代中の方が遠いと思う。近くに中学校があるのに、遠い学校に行かなければならないのだろうか。
 - ・ 自分が通うのであれば、少々遠くても平坦な道を自転車通学できる方がいい。また、親として津波などの自然災害を考えると、高台にある愛宕中の方がいいと思う。
 - ・ 松柏中からどちらの学校へ行くとしても、距離的には自転車通学となると思う。バスで通学することとなった場合も、八代中へ行く方が自然ではないだろうか。今後の統合を考えると、賛成しやすい案を考えることも大切だと思う。
 - ・ 平地にこだわるのであれば、愛宕中より松柏中校舎を利用することも考えられる。
自分は愛宕中出身ではないが、丘の上にある学校に通っていた。その時、何の苦労も感じなかった。自分の子どもは愛宕中に通っているが不都合はない。
 - ・ 松柏中の統合については、江戸岡、矢野町周辺に住んでいる人の意見も聞いてほしい。
 - ・ 進学する学校を選択制にすることも考えられるが、そうすると、ともすれば「わがまま制」になりかねないため、慎重に考えるべきだと思う。
 - ・ 後期計画のことまで考えると、旧市内は1校で考えるのが現実的であり、地域にも説明しやすいのではないだろうか。どの学校を残すのかは別にして、1校とするのが一番いいように思う。
 - ・ この会で協議・検討する中で、みなさんの意見を聞きながら旧市内のどの中学校を残すかを考えることが難しいと感じている。今後のことを考えると、10年後には旧市内中学校は1校とすることにしようだろうか。児童生徒数を見ても旧市内に中学校を2校残すことは難しいように思う。
 - ・ 旧市内中学校を1校残すことで考えることが、一番無理がなく現実的だと思う。
 - ・ 学校統合のゴールをどこで考えるかで違ってくる。

- ・ 旧市内で1校残すとすれば八代中だと思う。10年後に八代中、愛宕中、松柏中が1校になることを見通した施設整備を行ってはどうか。理想を言えば災害時に避難もできる新しい校舎を作してほしい。
- ・ まず、松柏中を八代中と統合することとしてはどうか。その時、松柏から愛宕への通学についても柔軟な対応を考えてはどうか。
- ・ 松柏中校舎の一部は耐震性がないということだが、統合の話が長引いた場合は問題ないのだろうか。学校は、子どもたちが安心して安全な学校に通える環境とすることを前提に考えなければならない。
→ 西校舎が木造であり、耐震検査は行っていないが老朽化が進んでいる。
- ・ 10年後に1校にすることとした方がよいのではないだろうか。段階的に統合を進めるより、皆納得すると思う。

(小学校について)

- ・ 今後の学校統合については、統合する学校をこの会で決定し、その決定事項について地域へ同意を得る流れになるのだろうか。
- ・ 統合後の施設利用を考えた統合をすべきというパブリックコメントの意見もあったが、いくら利用計画があるといっても江戸岡をなくすことにすぐ賛同を得られるとは思えない。保護者は、児童数や施設を鑑みても統合する必要性を感じないと思う。
- ・ 一定の学級規模を確保するための再編を考えると、複式学級を有する学校は統合が必要だと思う。
- ・ 1学級25名程度、全校150名の学校規模とすることであれば、松蔭小、江戸岡小、千丈小は統合対象校となる。ただ、千丈小については過去に統合が進んでいるため、今回の学校再編の対象とはせず、残りの2校で考えることになると思う。この2校での統合を単純に考えた場合、どちらの学校もこのままの施設では教室数が不足するが、松蔭小は増築が可能な敷地を有している。よって。統合後の規模を考えると、比較的広い敷地を有する松蔭小学校に統合することを考えるのが自然ではないだろうか。
- ・ 小学生の体力、地域の拠点等考慮したら、神山小、白浜小、千丈小を残す学校として考えることが適切だと思っている。
- ・ 松蔭と江戸岡の統合を考える時、特に江戸岡の校区を考えると全児童を松蔭に通わせることは無理があると思う。周辺の小学校を含めた校区の見直しを考えることも必要なのではないだろうか。両校とも閉校とするという考えもありうる。

- ・ 江戸岡をそのまま松蔭に統合するのは無理があるため、校区を見直した統合とすべきだと思う。中学校校区についても考慮しながら、無理のない小学校、中学校の校区を考えるべきである。

(その他)

- ・ もし、愛宕中をしばらく統合しないこととした場合、中間報告で出している学校規模の考え方が違ってくる。他校と統合しなければ望ましい規模に満たない学校をそのままとして良いものか、全体のバランスが取れていない状態の答申となっても大丈夫なのだろうか。
- ・ 神山幼稚園は駐車場が狭いため、もう少し広い所があればいいと思う。保育所と近いほうがいいと思う。

上記のとおり八幡浜市学校再編整備検討委員会（第7回）の議事経過及びその結果を明確にするためにこの議事要旨を作成し、出席者2人が署名する。

平成29年1月17日

署名人

署名人